



# 法收増の類豆と稻陸

増錢廿は引代 ● 錢八金料送 ● 錢拾八金價定 ● 頁十二百判菊 ●

## ▲一反歩から四石取りの陸稻栽培法

今迄の栽培法では陸稻は一反歩から一石五斗か二石位しか取れなかつた。それは栽培の秘法を知らなかつたから無理もない事である。所が杉山先生が卅年間苦心の結

## ▲一反歩から四石取りの大豆栽培法

大豆及び小豆の栽培は従來頗る幼稚な方法であつた爲め、大豆は一石か一石五斗

## ▲蠶豆の一反歩から四石取りの栽培法

蠶豆及び豌豆の需要は年一年と増加し、之が栽培は益々有望となつて来たが、舊式

## ▲瘠地でも一反三百圓の落花生作

外の作物では出来ない様な瘠地を利用するには落花生の栽培に限る。それも舊式法

### 發行所

東京市麴町區三番町二九 振替口座東京七〇九八九番

### 農業教育會

## 麥が一反歩から十二石取れる

### ▼三十年間苦心の結果其の秘法を發見す

▲今迄の農業では麥は一反歩から十石位しか取れなかつた。それは栽培の秘法を知らなかつたから無理もない事である。所が杉山先生が卅年間苦心の結

十年もかゝつて幾度となく、又到處の土地で試み、之れを改良法として詳細に詳述してある。

易でなかつたのである。そこで本會では此の秘法を成るべく多くの農家に知らしめて、農家の收穫を増加したいから、杉山先生のお願ひした書籍に詳述して發表する事が即ちそれである。本書は先生が各地で實地指導をすると同様に手を取つて教ふる様に親切に詳細に述べられてあるから、本書が分れば麥作の新式栽培法は十分に分かる事が出て、之を實行せば從來の二倍以上の收穫を擧げる事が出来るのである。

## 天理 應用 麥作改良栽培法

### 發行所

東京市麴町區三番町二九 振替口座東京七〇九八九番

### 農業教育會

菊判約百八十頁 定價金壹圓五拾錢 送料 金 八 錢 代金引替は廿錢増







著 生 先 功 田 高 筆 主 報 農 新

# 蜂 養 と 魚 養

◎事の増錢十二は引代◎錢六金料送◎錢拾七金價定◎冊壹全判菊◎

素敵に儲かる養魚法の奥儀

今迄餘り知られなかつたのは養魚法である。淡水魚の需要は年一年と増加し、都會の人は新鮮なる海水魚を得られざる爲め、淡水魚は其の價格を論せず、非常な歡迎をして居るので年々價格は上るばかりである。本書の養魚の部には左の如き秘法が満載されて居る。

●池面を六段に利用の養魚法 (池中泥土の部、池中下部、水中、水上層部の池の周圍、池上の六段に分)

●養鰻法 (自然の産卵と孵化、餌料)

●養鯉法 (造上の注意管理法、餌料、養殖池築)

●養鮪法 (親鯉の飼養、産卵期、親鯉の構造、産卵中の注意魚巢取除と給餌)

●養鯉法 (親鯉の飼養、産卵期、親鯉の構造、産卵中の注意魚巢取除と給餌)

## 發行所

東京市麹町區三番町二九  
振替口座東京七〇九八九番

## 農業教育會

四年に十倍になる養蜂の秘訣

養蜂は其の方法さへよければ副業として頗る有利なものである。之を大規模に爲す者は一ケ年に數千圓數萬圓の利益を擧げる者も少なくない。其の利益如何は管理の巧拙如何によるもので、從來の方法では其の利益も少ないが四季の管理を合理的に處理する新式の方法を以てすれば、養蜂家は勿論、是れから新に養蜂を爲さんとする者は是非讀まねばならぬ秘法である。

終

京 東

會 育 教 業 農